

(別紙4) 用語解説

	用語	解説
あ行	NPO	非営利での社会貢献活動や慈善活動を行う市民団体のこと。
か行	国土強靱化	どのような災害が発生しても、被害を最小限に抑え、迅速に復旧・復興できる、強さとしなやかさを備えた国土・地域を構築すること。
	啓開方法	災害発生時、緊急自動車などが通行可能になるようガレキ等除却処理を行う手順や方法。
	業務継続計画	災害発生時など予期せぬ自然災害が発生しても、業務を継続してできるようにするための計画。
さ行	脆弱性	安全性の弱点（もろくて弱いこと）
	サプライチェーン	原料の段階から製品やサービスが消費者に届くまでのプロセス。
	再生可能エネルギー	枯渇しない・どこにでも存在する・CO2を排出(増加)しない。 太陽光・風力・水力・地熱やバイオマスがある。
	災害時受援計画	大規模災害が発生した場合、被災自治体では対応できないため、近隣自治体などからの派遣を受け入れる体制を作る計画。
	Jアラート	弾道ミサイル攻撃に関する情報や緊急地震速報、気象情報を自動的に住民に伝達するシステム。
	シェイクアウト訓練	シェイクアウト訓練は、それぞれの場所で、「1ドロップ：まず低く」「2カバー：頭を守り」「3ホールド・オン：動かない」など安全確保を行う、住民等が主体的に参画する訓練。
	ストックマネジメント	下水道事業の役割を踏まえ、持続可能な下水道事業の実施を図るため、長期的な施設の状態を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理すること。
は行	PDCAサイクル	Plan（計画）－Do（実行）－Check（評価）－Action（改善）の4段階を繰り返すことで、業務を継続的に改善すること。
	ボランティアコーディネーター	ボランティアの活動を調整するスタッフのこと。
や行	要援護者	要配慮状態にある高齢者。または特定疾病が原因で要配慮状態の人。
	要支援者	災害時の避難行動に支援が必要な人。高齢者、障がい者など。
	要配慮者避難確保計画	水害や土砂災害が発生する恐れがある場合における、福祉施設、学校、医療機関等利用者の円滑、迅速な避難の確保を図るための、施設管理者がつくる計画。
ら行	リスクコミュニケーション	リスクに関する正確な情報を行政、町民などで共有し、意思疎通を図ること。
	リスクマネジメント	将来起こりうるリスクを想定し、リスクが起こった場合の被害（損害）を最小限に食い止めるための対応（措置）をすること。